

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 特定非営利活動法人 トツカビ

1 事業の趣旨・目的

地域に暮らす外国人市民が、生活や仕事に必要な日本語を学ぶと共に、問題や課題に直面した際に、自ら問題を解決できるようなソーシャルスキルを身に付ける日本語を習得する。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
5月6日	特定非営利活動法人トツカビ	朴 洋幸 野中モニカ 今田恵美 増田美穂子 木戸真美子 下岡美帆 高橋佳代子	委託事業の説明 日本語教室運営方法	会話重視に加えて、アウトプットできるような活動を入れる(学習者個人・クラスによって柔軟に対応)。 市販の教材も参考にしながら自主教材を主とする。 翻訳資料を付ける。
9月6日	特定非営利活動法人トツカビ	野中モニカ 今田恵美 増田美穂子 木戸真美子 下岡美帆 高橋佳代子	進捗状況報告 教室活動再検討	学習者のプロフィールの確認。 フリートークの時間、小グループ制を導入し、会話の時間を更に増やす等
10月28日	特定非営利活動法人トツカビ	朴 洋幸 野中モニカ 今田恵美 増田美穂子 木戸真美子 下岡美帆 高橋佳代子	報告書案について	今後の課題及び報告書案について

【写真】



写真 運営委員会(9月6日)

3 日本語教室の開催について

- ① 講座名 学ぼう、つながろう コミュニケーション能力向上のための日本語教室
- ② 開催場所 八尾市立安中人権コミュニティセンター、特定非営利活動法人トッカビ
- ③ 学習目標 生活や仕事に必要な日本語を学ぶと共に、問題解決できるようなソーシャルスキルを身に付ける日本語を習得する。
- ④ 使用した教材・リソース:講師が作成したオリジナル教材、絵カード、レアリア、八尾市から発行された多言語資料等
- ⑤ 受講者の募集方法
各コミュニティ団体や国際交流センター等の関係機関へ教室開催の告知。昨年度受講した学習者の口コミ
- ⑥ 受講者の総数 33 人
(出身・国籍別内訳中国：12 人、フィリピン：1 人、ペルー：1 人、ベトナム：19 人)
- ⑦ 開催時間数(回数) 60 時間 (全 30 回)

⑧ 日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語(人)	教授者・補助者人数	内容
1	5月17日 19:00~21:00	2時間	13人	中国・中国語(3人)、 フィリピン・フィリピン語 (1人) ベトナム・ベトナム語(9人)	教授者3人 補助者1人	ひらがな① 家、プレゼント

2	5月20日 19:00~21:00	2時間	13人	中国・中国語(4人) ベトナム・ベトナム語(9人)	教授者3人 補助者1人	ひらがな② 人物説明 交通手段
3	5月24日 19:00~21:00	2時間	11人	中国・中国語(3人) ベトナム・ベトナム語(8人)	教授者3人 補助者1人	ひらがな③ まち①、場所
4	5月27日 19:00~21:00	2時間	7人	中国・中国語(2人) ベトナム・ベトナム語(5人)	教授者3人 補助者1人	ひらがな④ 復習①、健康に関する習慣
5	5月31日 19:00~21:00	2時間	9人	中国・中国語(2人) ベトナム・ベトナム語(7人)	教授者3人 補助者1人	ひらがな⑤ 予定、健康と運動
6	6月3日 19:00~21:00	2時間	13人	中国・中国語(5人)、フィリピン・フィリピン語(1人) ベトナム・ベトナム語(7人)	教授者3人 補助者1人	基本動詞① 趣味① 私の一日
7	6月7日 19:00~21:00	2時間	14人	中国・中国語(4人) ベトナム・ベトナム語(10人)	教授者3人 補助者1人	復習、友達を誘う 私の一週間
8	6月10日 19:00~21:00	2時間	18人	中国・中国語(6人)、フィリピン・フィリピン語(1人) ベトナム・ベトナム語(11人)	教授者3人 補助者1人	自己紹介 行事を計画する 最近の出来事①
9	6月14日 19:00~21:00	2時間	15人	中国・中国語(6人)、フィリピン・フィリピン語(1人)、ペルーポルトガル語(1人) ベトナム・ベトナム語(7人)	教授者3人 補助者1人	数の言い方 友達 最近の出来事②
10	6月17日 19:00~21:00	2時間	10人	中国・中国語(2人)、フィリピン・フィリピン語(1人) ベトナム・ベトナム語(7人)	教授者3人 補助者1人	料理①
11	6月21日	2時間	11人	中国・中国語(3人)、フ	教授者3人	料理②

	19 : 00～21 : 00			フィリピン・フィリピン語 (1人) ベトナム・ベトナム語 (7人)	補助者 1人	
12	6月24日 19 : 00～21 : 00	2時間	11人	中国・中国語 (3人)、フィリピン・フィリピン語 (1人) ベトナム・ベトナム語 (7人)	教授者 3人 補助者 1人	調理実習
13	7月1日 19 : 00～21 : 00	2時間	14人	中国・中国語 (7人)、フィリピン・フィリピン語 (1人) ベトナム・ベトナム語 (6人)	教授者 3人 補助者 1人	好き嫌い 病気・怪我① リビング
14	7月5日 19 : 00～21 : 00	2時間	9人	中国・中国語 (2人)、フィリピン・フィリピン語 (1人) ベトナム・ベトナム語 (6人)	教授者 3人 補助者 1人	カタカナ① 病気・怪我② 料理③
15	7月8日 19 : 00～21 : 00	2時間	14人	中国・中国語 (4人)、フィリピン・フィリピン語 (1人) ベトナム・ベトナム語 (9人)	教授者 3人 補助者 1人	カタカナ② 健康法 掃除
16	7月12日 19 : 00～21 : 00	2時間	11人	中国・中国語 (3人)、フィリピン・フィリピン語 (1人) ベトナム・ベトナム語 (7人)	教授者 3人 補助者 1人	カタカナ③ 地震 洗濯
17	7月15日 19 : 00～21 : 00	2時間	11人	中国・中国語 (4人)、フィリピン・フィリピン語 (1人) ベトナム・ベトナム語 (6人)	教授者 3人 補助者 1人	カタカナ④ 日曜日 電車
18	7月22日 19 : 00～21 : 00	2時間	9人	中国・中国語 (2人)、フィリピン・フィリピン語 (1人)	教授者 3人 補助者 1人	カタカナ⑤ 趣味②、計画を立てて変更する

				ベトナム・ベトナム語 (6人)		
19	9月13日 19:00~21:00	2時間	14人	中国・中国語 (3人) ベトナム・ベトナム語 (11人)	教授者 3人 補助者 1人	カタカナ⑥ 生活での困り事 用事
20	9月16日 19:00~21:00	2時間	22人	中国・中国語 (5人)、フ ィリピン・フィリピン語 (1人) ベトナム・ベトナム語 (16 人)	教授者 3人 補助者 1人	交流会
21	9月20日 19:00~21:00	2時間	17人	中国・中国語 (6人) ベトナム・ベトナム語 (11 人)	教授者 3人 補助者 1人	果物 救急箱 復習①
22	9月27日 19:00~21:00	2時間	12人	中国・中国語 (3人) ベトナム・ベトナム語 (9 人)	教授者 3人 補助者 1人	食べ物① 病気・怪我③ あげもらい
23	9月30日 19:00~21:00	2時間	15人	中国・中国語 (5人) ベトナム・ベトナム語 (10 人)	教授者 3人 補助者 1人	食べ物② 病気・怪我④ 授受表現・デザイン
24	10月4日 19:00~21:00	2時間	11人	中国・中国語 (4人)、フ ィリピン・フィリピン語 (1人) ベトナム・ベトナム語 (6 人)	教授者 3人 補助者 1人	Nihongo cafe
25	10月7日 19:00~21:00	2時間	15人	中国・中国語 (4人) ベトナム・ベトナム語 (11 人)	教授者 3人 補助者 1人	家具・部屋の名前 復習② お金・支払い
26	10月11日 19:00~21:00	2時間	13人	中国・中国語 (3人) ベトナム・ベトナム語 (10 人)	教授者 3人 補助者 1人	場所の名前、近所① 動作のあげもらい
27	10月14日 19:00~21:00	2時間	15人	中国・中国語 (3人) ベトナム・ベトナム語 (12 人)	教授者 3人 補助者 1人	近所、近所② 復習②
28	10月18日 19:00~21:00	2時間	11人	中国・中国語 (1人) ベトナム・ベトナム語 (10 人)	教授者 3人 補助者 1人	地震、形容詞① 復習③
29	10月21日	2時間	12人	中国・中国語 (3人)	教授者 3人	基本動詞②、形容詞

	19 : 00～21 : 00			ベトナム・ベトナム語 (9人)	補助者 1 人	②、学校の言葉①
30	10 月 25 日 19 : 00～21 : 00	2 時間	9 人	中国・中国語 (2 人) ベトナム・ベトナム語 (7 人)	教授者 3 人 補助者 1 人	私の一日、復習③学校の言葉②

⑨ 特徴的な授業風景 (2～3回分)

Aクラスの特徴的な授業風景

授業日: 6 月 7 日 (火) 19:00～21:00

場所: 八尾市立安中人権コミュニティセンター

講師: 下岡美帆

講座トピック: 復習

使用教材: オリジナル教材、ひらがな・カタカナカード、体の部位シート

活動内容: ひらがなの定着 体の部位の名称を覚える

クラス内の様子

ひらがなはほぼきちんと読めるようになってきた。しかし書くことになると、学習者によって進度がかかなり異なる。ひらがなのみの学習では語意が増えないので、体の部位の名称を取り入れてみたが、学習者によって積極的に発言をする人とそうでない人に分かれてしまった。すべての学習者から発話を引き出してくることが課題。

Bクラスの特徴的な授業風景

授業日: 9 月 20 日 (火) 19:00～21:00

場所: 八尾市立安中人権コミュニティセンター

講師: 木戸真美子 補助者: 金峰健 支援者 金洋子、金永煥、高橋佳代子

講座トピック: 病気・怪我 ③

使用教材: オリジナル教材、絵カード、支援者用シート

活動内容: 自分の病状を言えるようにする。

相手へ許可を求めることができる。

クラス内の様子

授業の始めに前回の授業内容を復習したが、学習者はよく覚えていた。

今回も会話時間を多くし、最後にワークシートを作成する形で授業を進めた。

病状を言う、許可を求める等と、前回より難しかったようだった。初めは言葉が上手く出てこないため、少し理解するのに苦戦していたグループもあったようだが、会話を進めていくうちに、自分の言いたいことを上手く使えるようになっていたと思う。グループで話をしているので、学習者の発話量も今までより増えてきており、引き続き会話時間を多くとって授業を進めていきたい。

Cクラスの特徴的な授業風景

授業日: 7月15日(金) 19:00～21:00

場所: 八尾市立安中人権コミュニティセンター

講師: 増田美穂子

講座トピック: 電車

使用教材: オリジナル教材、絵カード

活動内容: 語彙導入、語彙に関する質問をする、ロールプレイ、フリートーク、ゲーム

クラス内の様子

この日は、また新しい人が増えたが、和気あいあいとしたいい雰囲気で進められていた。みんなよく発話し、仲も良いこともあるので、お互いにフォローしあえ、クラスとしてはよくまとまっている。細かいところでレベル差があるので、組むペアを工夫するなどして、極力物足りなさを感じないようにする必要がある。また登場した語彙や文法をしっかりと使える人もいるが忘れてしまう人もいる。この頃は、毎回の復習時間をあまりとっていなかったが、今後はまとめて復習をとりいれることも検討する。



写真 右 Aクラスの授業風景 左 Bクラスの授業風景

右 Nihongo café より 左 交流会より

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

地域に暮らす外国人市民が、生活や仕事に必要な日本語を学ぶと共に、問題や課題に直

面した際に、自ら問題を解決できるようなソーシャルスキルを身に付ける日本語を習得するという目標をたて、1回2時間の全30回の教室活動を行った。各クラスで日本語を学ぶことにより、日本語力(会話力に加え、文字の習得、生活に必要な言葉話す事ができかつ書くことができる)、コミュニケーション力が向上した。また日本語を継続して学ぶ習慣、モチベーションが定着した。

② 学習者の習得状況

- ・ Aクラスでは、ひらがな・カタカナを覚えて簡単な会話ができることを目指したが、各学習者がひらがな・カタカナを習得し、生活に必要な言葉や簡単な会話ができるようになった。また当初と比べると自信を持って日本語が話せるようになった(声が大きくなった。発話量が増えた等)。また時間をかけて復習をするので、話せる言葉が増え、日本語で母国のことや現在の仕事のことを伝えてくれるようになった。
- ・ Bクラスでは、自分のことをきちんと説明できるように、自分発信できるようになることを目指した。復習時間を多く取り入れたこと、後半から小グループでの会話練習を多く取り入れたことにより、各学習者の発話量が増え、新しく学んだ言葉がきちんと定着して会話の中に活かす事ができるようになった。
隣に支援者がいることによって、リラックスして会話練習ができ、楽しんで学んでいる様子が見られた。そのため自分が話したいと思っていることを(以前は母国語が先に出ていたのが)日本語で努力しながら伝えるようになった。
以前は質問内容と異なる回答をしていた学習者が、授業内容をきちんと理解し、講師の質問に対して的確な回答ができるようになった。
- ・ Cクラスでは、一定の会話ができるクラスなので、更に語彙量を増やし即答できること等を目指した。Bクラスと同様復習時間を多くしたため、新しい語彙や文法の定着が図られ、なめらかな日本語が出てくるようになった。また積極性がかなり増し、格段に日本語量が増えた。Bクラスと同様、日本語でなんとか話そうとするようになってきた。またルビなしで読める漢字が増えた。

③ 日本語教室設置運営の効果、成果

- ・ 地域に暮らす外国人市民が日本語を学ぶ機会を提供できた。
- ・ 日本語教室を設置したことにより、地域に暮らす外国人市民が日本人をはじめ、他の外国人市民と出会う場を提供し、仲間になるきっかけを提供することができた。
- ・ 日本語を話す、コミュニケーションをとることに対して不安や自信のなさがあった学習者が、教室を通じて日本語でコミュニケーションをとることに対して自信をもって積極的に日本語を話すようになった。
- ・ 日本語を学ぶ場所であると共に、生活や仕事での問題や悩みなどを話すことができる場所(また他の相談機関へつないだりする中継地点)として機能するようになった。
- ・ 外国人市民にとっての学習の場、居場所として定着してきた。

④ 地域の関係者との連携による効果, 成果 等

- ・ 地域で行われている他の日本語教室との情報交換等を行うと共に、学習者の紹介や受入れなども積極的に行った。
- ・ 相談機関等から日本語支援の要請があった際に、積極的に受け入れを行った。

⑤ 改善点, 今後の課題について

a. 現状

- ・ 学習者の状況に合わせた進度・オリジナル教材を使って教室活動を進め、また教材には必要に応じて母語の対訳をつけたことは学習者が安心して参加できるようにになっている。
- ・ 支援者を交えて小グループで活動すると発話量が増え、安心して日本語を話す環境があるが、支援者の数が少ない時はそれを行うのが難しい状況がある。

b. 今後の課題

- ・ 初級レベルになればなるほど、参加頻度によって進度の差が出るので、教室活動が難しくなる。
- ・ 4 技能(話す・聞く・読む・書く)がそれぞれの学習者で異なるためどこに焦点をあてて教室活動を行うのかを明確にし、バランスのとれた教案を考える必要がある。
- ・ 教室以外で日本語を話す機会がなく、学んだことを活用する場所がないので、教室以外、もしくは教室活動の中に、新たな支援者(地域住民の方)を入れて活動を行う機会を創る必要がある。
- ・ 学習を続けたい、もしくは新たに学びたいという学習者が多いが、仕事や開催時間の関係で難しい場合が多い(他の日本語教室に受入れ依頼などを行っているが、他の教室も飽和状態であることが多いので、学びたい学習者のニーズに応えきれしていない)

c. 今後の活動予定, 展望

- ・ 学習者からの継続要望は大きいので、次年度も継続して日本語教室を開催したい。
- ・ 新しく入る学習者も多いが、継続して参加している学習者も多いので、日本語学習以外の活動(地域行事や交流活動等)にも主体的に参加するように呼びかけていきたい。また学習者達自らが企画するような交流活動の支援も行っていきたい。

③その他参考資料 (アンケートより、回答は日本語及び学習者の母語)

1 日本語教室に参加する前と今では、日本語学習はどのように変わりましたか。ご意見や感想を教えてください。

- ✓ 日本語を勉強する前は、日本人と接するのがとても気がひけていたけれど、勉強を始めてからは日本人と話すのがとても好きになった。日本語は難しいけれど、この教室のおかげでもっと日本語を覚えることができるようになると思います。
- ✓ ここで勉強することで、生活に適應するためのことを多く知ることができます。日本語を学ぶことで、1人で病院に行けたり、もっといい仕事ができるようになればいいと思います。
- ✓ 日本語の勉強が楽しいです。もっと勉強したいです。
- ✓ ここで勉強するのは楽しいです。
- ✓ この日本語教室に来る前は、日本語があまりわからなくて、仕事で日本人と接するのが大変でした。でもこの6カ月間、教室に通うのが楽しくてもっと勉強したくなると同時に、もっといろんな社会の役に立つような交流活動に参加したいと思うようになりました。
- ✓ 11年前にも日本語を勉強しました。今は子どものために日本語を勉強したいと思っています。
- ✓ 前は日本語がわかりませんでした。今はちょっとわかります。日本語の勉強は楽しいです。
- ✓ 今は日本語が少しわかるようになりました。日本語は難しいです。でもがんばります。
- ✓ 前は日本語が全然わからないです。でも今は上手になりました。だいたいわかります。勉強も面白いし楽しいです。
- ✓ 今は日本語がわかるからうれしいです。
- ✓ 日本語を勉強するのは好きです。勉強している時は理解できるけれど、家に帰ったら忘れてしまいます。先生は親切で熱心に教えてくれます。
- ✓ 教室に来る前は日本人と話す時とても緊張しました。今は少しましになりました。先生といろいろな話をしたり、勉強したりすることで日本の文化などもっと深く知ることができるようになりました。自分の生活も豊かになったと思います。教室に来てよかったです。
- ✓ 日本語が前よりも上手くなって、知らないことも先生に聞けて、他の学習者のみなさんにも会えるので楽しく過ごしています。

2 一回の勉強は何時間がいいですか。

2時間がいい→10人、3時間がいい→1人、何時間でもいい→2人

3 1週間に何回の勉強がいいですか。

1週間に1回がいい→9人、1週間に2回→3人 1週間に3回→1人

4 どんな勉強をしたいですか。

会話、文法、漢字、生活習慣、文化、文章を書く、文章を読む